

交通量

宮崎県内の東九州道各インター間の交通量が約1.4倍増加しました。



開通した北浦～須美江間は約3,000台/日、日向～都農間は約8,000台/日。
東九州道(蒲江IC～宮崎西IC間)における開通前後の交通量を比較した結果、全区間で交通量が増加し、最大で約73%増加。(須美江IC～北川IC間)

管理	NO	区間	延長 【km】	①開通前 【台/日】	②開通後 【台/日】	増加量 ②-① 【台/日】	増加率 ②/① 【%】
国土交通省	①	蒲江IC～蒲江波当津IC	8.8	1,079	1,476	+397	37%
	②	蒲江波当津IC～北浦IC	5.4	962	1,446	+484	50%
	③	北浦IC～須美江IC	6.4	—	2,660	—	—
	④	須美江IC～北川IC	5.6	1,934	3,339	+1,405	73%
	⑤	北川IC～延岡JCT・IC	12.8	4,765	5,887	+1,122	24%
	⑥	延岡JCT・IC～延岡南IC	7.8	8,413	11,431	+3,018	36%
NEXCO西日本	⑦	延岡南IC～門川IC	3.7	9,600	12,000	+2,400	25%
	⑧	門川IC～日向IC	13.9	3,400	5,600	+2,200	65%
	⑨	日向IC～都農IC	20.0	—	8,000	—	—
	⑩	都農IC～高鍋IC	12.9	4,500	7,700	+3,200	71%
	⑪	高鍋IC～西都IC	12.1	5,800	8,300	+2,500	43%
	⑫	西都IC～宮崎西IC	16.8	6,700	7,700	+1,000	15%
平均			—	—	—	—	44%

交通量調査結果

開通前

①～⑥: 平成25年10月22日(火)

⑦～⑫: 平成25年3月18日(月)～22日(金) 平均値

開通後

①～⑥: 平成26年3月19日(水)

⑦～⑫: 平成26年3月17日(月)～20日(木) 平均値

※NEXCO西日本管理区間の交通量は、交通量計測装置によるデータを速報値として記載。(百台単位にて表示)

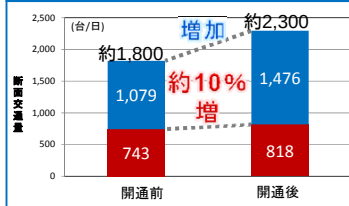
交通転換

東九州道の開通により、**並行現道の交通量が減少**しました。

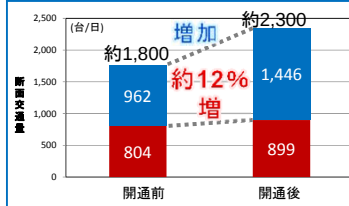
- 東九州道の開通インパクトによる交通量の増加に伴い、ほぼ全区間で断面交通量が増加。
- 今回開通区間の並行国道から東九州道へ交通が転換し、並行国道の交通量が減少。
- 北浦IC～須美江IC間に並行する国道388号は約29%減少、日向～都農間に並行する国道10号は約24%減少。



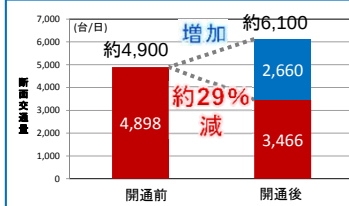
① 蒲江IC～蒲江波当津IC間



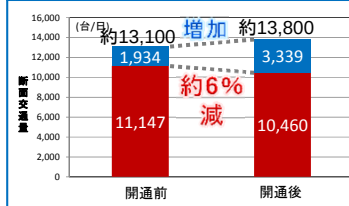
② 蒲江波当津IC～北浦IC



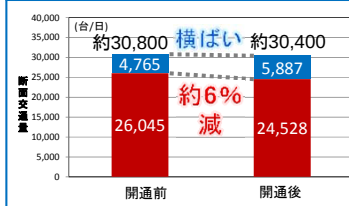
③ 北浦IC～須美江IC



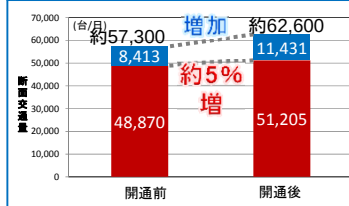
④ 須美江IC～北川IC



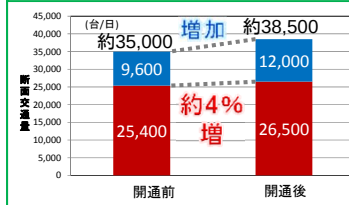
⑤ 北川IC～延岡JCT・IC



⑥ 延岡JCT・IC～延岡南



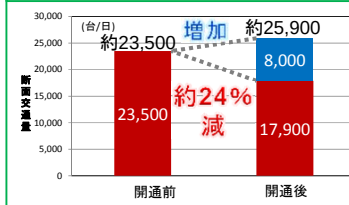
⑦ 延岡南IC～門川IC



⑧ 門川IC～日向IC



⑨ 日向IC～都農IC



交通量調査結果

開通前

- ①～⑥: 平成25年10月22日(火)
- ⑦～⑨: 【国道10号】平成25年10月22日(火)
- ⑦～⑨: 【東九州道】平成25年 3月18日(月)～22日(金) 平均値

開通後

- ①～⑥: 平成26年3月19日(水)
- ⑦～⑨: 【国道10号】平成25年3月19日(水)
- ⑦～⑨: 【東九州道】平成26年3月17日(月)～20日(木) 平均値

※並行現道の交通量は12h実測値をもとにH22センサスの 昼夜率を用いて日交通量に換算

※NEXCO西日本管理区間の交通量は、交通量計測装置によるデータを速報値として記載。(百台単位にて表示)

交通混雑の解消

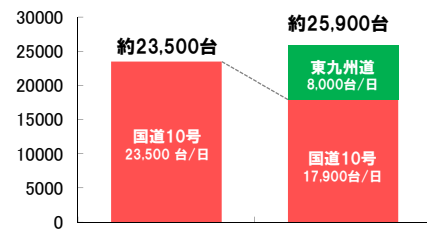
東九州道の開通により、**美々津中入口交差点(国道10号側)の渋滞が緩和**されました。

➡ 現道(国道10号)を通行する交通が**東九州道に転換**し、日向市**美々津中入口交差点**の渋滞が緩和。



■現道(国道10号)から東九州道へ交通が転換

- ・国道10号から東九州道へ約6千台が交通転換
- ・断面交通量は約10%増加(約2400台/日増加)



▲美々津中入口交差点の交通量※

※開通前: H25年10月22日(火)、開通後: H26年3月19日(水)

※国道10号は12h実測値よりH22センサスの昼夜率を用いて日交通量に換算

開通前



開通後



■美々津中入口交差点の渋滞解消

開通前



開通後

